

2026年度 小学生競技規則の取り扱いについて

2026年4月11日

2026年度6人制競技規則の改修正点およびルールへの取り扱いに準拠し、以下を主に小学生ルールの取り扱いとして、確認することとする。

小学生競技規則の修正・改正点

(1) 【競技の特性】における表現を次のとおり改めた

ボールをプレーするときは、ボールが身体の数箇所に連続して接触しても、それが1つの動作中に生じたものであれば許される。



サーブのヒットを除き、チームのすべてのヒットは、1つの動作中であるならばボールは身体のさまざまな部分に接触してもよい。

(2) テクニカルタイムアウトを競技規則から削除

補足：

テクニカルタイムアウトは競技規則からは削除するが、夏季などにおける熱中症対策に対しては、次のとおりに取り扱う。

選手の健康と安全のためのタイムアウト

名称をセーフティタイムアウト (STO) とし、気候や季節、施設の環境等を考慮しながら、大会毎に大会実行委員会にて設定する。

※STOは選手の健康と安全のために適用されるものであることを再確認し、選手の給水や健康観察を最優先させること。

- 選手はベンチ横からウォームアップエリアの間の位置に30秒間とどまること。
- STO中はウォームアップはできない。
- ベンチスタッフの声かけは、健康観察のためのものである。

(3) 「監督は、ラリー中ベンチに座っていなければならない。」を次のとおりとする。

「監督は、自チームのアタックラインの延長線からウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で、立ちながらも歩きながらも指示を出すことができる。この時、ラインジャッジの視界を遮ってはならない」

※この取り扱いは、検証のための試験的な導入である

(4) 「片方の足(両足)または片方の手(両手)がセンターラインを越えて相手コートに触れても、侵入している片方の足(両足)または片方の手(両手)の一部がセンターラインに接しているかその真上に残っていれば許される。他のいかなる部分も相手コートに触れることは許されない。」を次のとおりとする。

「相手コートに侵入している片方の足(両足)の一部が、センターラインに触れているかセンターライン真上であれば、この動作が相手チームのプレーを妨害しない限り、足首よりどの部分が相手コートに触れてもよい。」

※この取り扱いは、検証のための試験的な導入である